



第62回 憲法よもやま講座



今こそ、障害者福祉改革の原点に！

～実話アニメ映画「**どんぐりの家**」の鑑賞をしながら～

1997年度キネマ旬報文化映画ベスト・テン第5位

日時 2010年4月10日(土) 18時00分～20時50分ころ
 (開場 17時45分 上映開始 18時20分ころ)

内容 どんぐりの家建設にかかわった当事者のお話(予定)+上映

場所 文京区民センター 2-A会議室

地図 http://www.cadu-jp.org/notice/bunkyo_city-hall.htm

参加費 500円

障害者自立支援法の廃止、障害者自らが制度作りに参加する政府の「障がい者制度改革推進会議」など、今はまさに障害者福祉の変革の時です。

しかし、障害者問題といってもどこから手をつけていいものかよくわからないのが本音です。

そこで、第13回憲法フェスティバル(1999年)で好評を博した映画「どんぐりの家」を再上映することにしました。

この映画は、実在するろう重複障害者のための共同作業所をモデルにしたアニメ映画で、1997年から各地で上映されています。当時は障害者に対する理解が遅れていたため、障害児を抱える親たちやボランティアは障害者に対する世の中の理解が進むことを願ってこの映画制作のために大変な苦勞と負担をしました。

現在まで脈々と続いてきた障害者福祉の原点をもう一度みつめることによって初めて、これからの障害者福祉について考えることができるのではないのでしょうか。

主催●憲法フェスティバル実行委員会

連絡先●南北法律事務所・弁護士 遠藤健一

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2ステージビル17階 1706号

TEL: 03(3511)5748 / FAX: 03(3511)5784

(FAX 03(3511)5784 / 郵送)

2010年4月10日(土)の憲法フェスティバルよもやま講座に参加します。

お名前 _____ (参加人数 _____ 人)

ご住所 〒 _____

ご連絡先 _____